

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の栃木県の人口は 2,016,631 人で、前回調査の 12 年に比べ 11,814 人、0.6%上昇している。
- 2 人口を市町村別にみると、宇都宮市が 457,673 人（県人口の 22.7%）で最も多く、次いで小山市が 160,150 人（同 7.9%）、足利市が 159,756 人（同 7.9%）となっており、最も少ないのは栗山村の 1,933 人（同 0.1%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 1,002,114 人、女性が 1,014,517 人で、女性が 12,403 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 98.7 から 98.8 と上昇している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 285,245 人（県人口の 14.1%）、15～64 歳人口は 1,336,513 人（同 66.3%）、65 歳以上人口は 390,896 人（同 19.4%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.2 ポイント低下、1.2 ポイント低下、2.2 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 61.7%、女性が 60.0%、未婚率は男性が 31.0%、女性が 21.0%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 26,322 人で、平成 12 年に比べ 5,240 人、24.9%増加している。
- 7 栃木県の一般世帯数は 705,206 世帯で、平成 12 年に比べ 39,272 世帯、5.9%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 172,908 世帯（一般世帯の 24.5%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.97 人から 2.81 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 398,886 世帯（一般世帯の 56.6%）で、このうち夫婦のみの世帯は 125,811 世帯（同 17.8%）、夫婦と子供から成る世帯は 215,113 世帯（同 30.5%）となっている。また、単独世帯は 172,082 世帯（同 24.4%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 261,501 世帯（一般世帯の 37.1%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 41,400 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 15.8%）、高齢夫婦世帯^{（注）}は 52,941 世帯（同 20.2%）となっている。
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 69.0%で、平成 12 年に比べ 0.3 ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 104.4 m²から 104.7 m²と広がっている。

図1 栃木県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

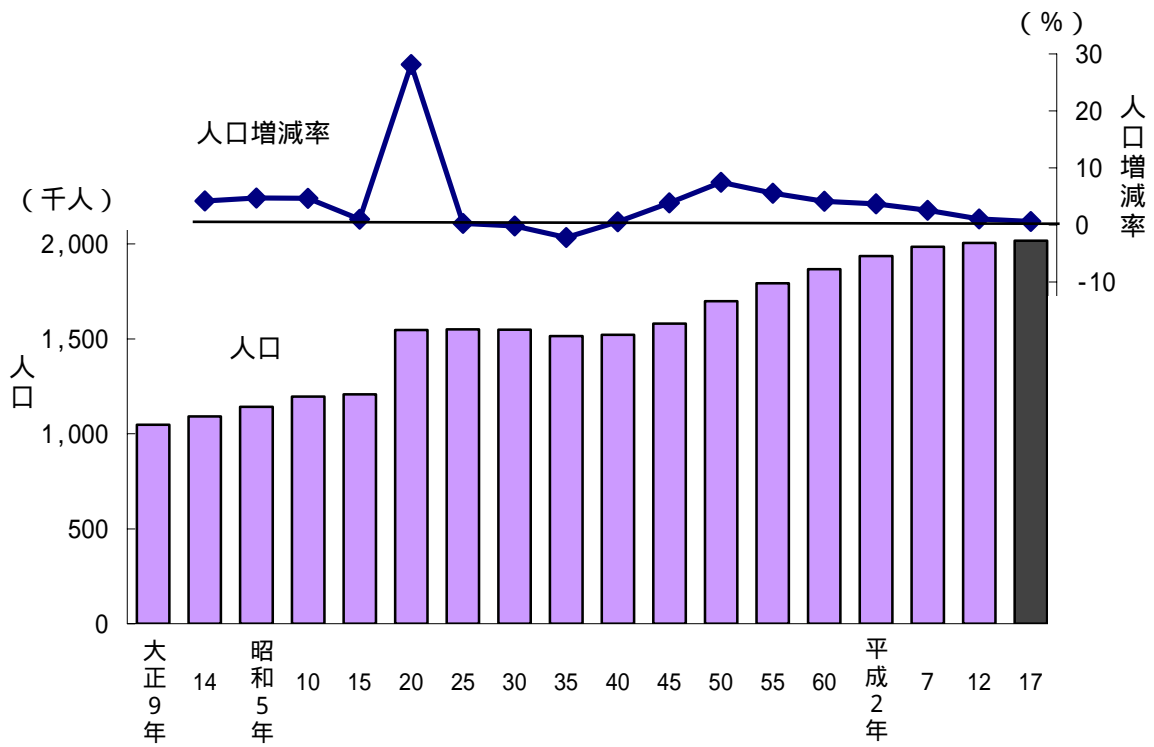


図2 栃木県の年齢（各歳），男女別人口（平成7年・17年）

